



「改めて感じた母校の素晴らしさ」



PTA 会長 田所 雅 樹

今年度 P T A 会長を務めさせていただいております田所雅樹と申します。日頃より皆様には P T A 活動に御理解・御協力を賜り誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に伴い「当たり前」の生活から「新しい日常」を模索する期間に世界は移りつつあります。私自身副会長を二年間務めさせていただきましたが、コロナ禍における活動の自粛・制限により全てを把握できないまま不安の中での会長一年目を迎えました。そして今年度も収束することなくスタートしました。

学校行事・P T A 活動につきまして日々の感染状況を踏まえながらの開催の判断。または制限が設けられながらの開催など学校にとって非常に難しい状況が続いております。そのような状況でも友澤校長をはじめ教職員の方々は生徒生活を第一と考え、北高生の充実した学校生活のために日々御尽力いただき深く感謝申し上げます。

が中心となり大盛況のうちに終えることができました。そして十一月のレクパリーの開催など今年度、今までのところいろいろと制限のある中でも皆様のおかげで活動できております。御協力いただいた皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

私は本校第四十八回(平成九年)卒業生になります(旧姓「西岡」)。現在は学生時代に所属していた硬式野球部のコーチをさせていただいております。週二、三回学校に足を運んでおり生徒の表情や学校の雰囲気を感じながら日々活動させていただいております。

すれ違う際に気持ちの良い挨拶をしてくれる生徒達。日々勉学に励む中限られた時間の中で部活動に打ち込み強豪校に堂々と立ち向かう強い心。体育大会・文化祭の成功に向けて一致団結し練習していた姿。そういう生徒達を見ていると嬉しきもあり懐かしさもあり、また羨ましい気持ちにもさせられてきました。

「文・武・心」の校訓に目を背ける事なく、日々悩み、苦しみながらも真つすが目標に向かい努力し続ける生徒達が充実した高校生活を送ることで、社会貢献できる人材の育成、そして生徒達の目標の実現のために日々熱く御指導してくださる先生方、そして私自身が愛する母校のために尽くして参りたい

「たし算よりかけ算」



校長 友 澤 義 弘

P T A 会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に格別の御理解・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

令和四年度になっても新型コロナウイルス感染症の収束は見えてこない状況で、コロナ禍の影響は依然として様々な場面でありましたが、学校教育活動を一斉に停止することがなかったため、入学式から五月の P T A 総会、九月に実施した体育大会と文化祭など、一定の制限を設けさせていただいた上で、保護者の皆様方に御案内することができました。

特に三年生は、学校行事等に対する来場制限が柔軟になったことも挙げられますが、保護者の皆様にお子様を本校で心身ともに成長した姿や躍動する様子を見て、「やっ」と御覧いただく機会を設けることで、日頃からの御支援や御協力に對しまして少しかけ恩返しできたと感じておりますとともに、関係者として大きな喜びでもありました。

また、この原稿は十一月に作成していますが、コロナ禍で実現していないことと思っております。

今までは以上松山北高が「地域の人々から愛され、他の学校の目標となる」と言っていた学校になれるよう微力ではございますが、先生方、保護者の皆様方と団結し活動していきたいと思っております。

の御理解・御協力の程よろしくお願致します。また、今後の学校行事・P T A 活動につきましても積極的な御参加をお願い致します。

最後になりますが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束と、皆様の御健康をお祈り申し上げます。それでは今年度、残りの期間もどうぞよろしくお願致します。

十二月月初めに修学旅行があります。十二月の生徒が参加して高校時代の大切な思い出だけではなく、非日常の時間や空間を仲間とともに過ごした体験を通じて、豊かな心の涵養にもつながるような楽しくて素敵な旅にしたいと願っています。

さて、松山北高校の同窓の皆様方から感じる強い結束力を受け継いでいる生徒たちに「チーム北高」のチーム力にさらに磨きをかけてほしい願いを込めて次のような考え方を紹介いたします。

静岡大学教職大学院の武井敦史教授が投稿されていた文章の一部です。日本ではマスク不足で騒がれていた当時に、台湾において三十五歳で史上最年少のマップ(どの店舗にとれだけのマスクの在庫があるかわかるように開発したアプリ)で「躍世界から注目を浴びたオーディン・タン氏の考え(「オーディン・タン」デジタルと AI の未来を語る)について記された内容の一部です。

オーディン・タン氏は、「人間の社会集団がどのようにして最大の知性を発揮しうるか」の問題提起に対して、「デジタル技術も駆使したプログラミング思考も必要ですが、二つの問題をいくつかの小さなステップに分解し、多くの人たちが共同で解決するプロセス」を学ぶことです。「最初から最後まで一人の力で解決方法を考える」やり方とは異なる方法を学ぶことで、どの分野でも通用する「問題解決の方法」が身につけることができるだろう。」と述べています。ただ、オーディン氏によるこの考えを実現するには、大きな課題も残っています。

それは、現在の日本の学力の基準が、あくまでも個人単位の限定した測定値で評価することになっているということです。現在、集団として評価する機会としては、全国学力学習状況調査の都道府県別順位や学校ごとに卒業生の大学合格者数を実績としたランキングなどのように、集団の総数や平均としての値が問われることがあります。わかりやすい指標ですが、これは個人の単純な総和または平均としての力であり「足し算の学力」に過ぎません。

これに対して、「創造」の視点が強調される未来の社会において特に必要となるのは、お互いに異なる考え方や資質・能力を持った人間同士が協力し合いながら、単なる個人の総和ではなく、集団として和を越えた力を発揮する「かけ算の学力」になるはずで、例えば、テストで全員 70 点以上をとってはいれば、平均点は 60 点になるということはありませんが、グループで学習成果・研究成果を完成させる場合には、生徒一人ひとりの能力は高く、みんなが力を発揮したつもりでも全体としては成果や結果が出なかったということは少なくありません。

これからの多様な価値感により多極化する社会の中で、人が幸せに生きていける社会を創造するには、集団の知性がうまく発揮できるような学校教育の中で、「個人」を育てる必要があると教授は述べています。

松山北高校の生徒の皆さんには、個人の力を集めた足し算よりも、かけ算によってチーム力を結集した力が発揮できるような「文・武・心」を磨いてほしいと願っています。団体戦でこそ、より大きな力を発揮する「チーム北高」の真骨頂が随所で見られるよう、教職員一同は保護者の皆様方とともに支えてまいります。

終わりに、本校の教育活動に対して、温かく見守っていただいております田所 P T A 会長をはじめ会員の皆様方に改めて御礼を申し上げますとともに、今後とも格別の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

PTA 活動

「不撓不屈」
「我らの闘志見せつける」

川上 千穂

コロナ三年目となり少しづつ制限も緩和される中、天候が心配されていましたが、さわやかな秋晴れとなり九月七日、第七十三回体育大会が開催されました。

まずは、北斗、飛龍、銀河、青雲、各グループパネルが目に飛び込みます。リーダーを中心に創意工夫し完成された力作に観客席から、称賛の聲が上がり、いざスタートです。



北高伝統種目である一年生の北高体操や二年生の棒体操では、日頃の練習の成果が十分に発揮されました。そして最後の体育大会となる三年生は、男子は浴衣や各自の思いが描かれた法被姿、女子は色とりどりの浴衣姿で北高らしい演出の中、満面の笑顔で北高音頭を披露してくれました。

この日のために三年生が主体となり短期間で企画や準備練習などをしてきました。また応援合戦や仮装パフォーマンスでは、チームそれぞれの個性があり、素敵な衣装で一糸乱れぬ演技によって会場はいつぱいの拍手でつまれました。練習してきた友達との時間は、かけがえのないものとなったことでしょう。最後に御指導いただいた先生方、御協力くださいましたPTA並びに保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

文化祭PTAバザーに参加して

津司 美保

爽やかな秋晴れの下、九月二十二日、待望の文化祭が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされたPTAバザーも、二年ぶりに実施することができました。

一昨年同様、調理済みの商品を仕入れ販売しました。パン、から揚げといった人気の品に加え、食べやすい工夫されたミニオムライス、ミニうどんなど、計十二種類のメニューを販売しました。どの商品も好評で



完売することとなり、生徒たちも楽しんでくれたようです。運営についても、多くの役員の方に協力していただき、準備、販売、片付けが安全にスムーズにでき、チーム北高と自負して頑張りました。

新型コロナウイルスの終息が見えず、様々な制限があり、感染対策を強いられる中、変わらない生徒たちの明るい笑顔と元気な声に、役員として参加できたことを大変うれしく思っています。

伝統となっていた手作り炊き込みご飯などをふるまえず残念でしたが、バザーが実施できたことに意味があり、有意義な時間となりました。

最後に、開催に際し、御尽力いただいた先生方、役員の皆様へ感謝申し上げます。来年も色々な行事が滞りなく行われることを祈っております。



親睦バレーボール大会に参加して

武田 千尋

平和通りのイチョウもきれいな金色に色づいてきた十一月末、私にとっては初めてのPTAバレーボール大会に参加させていただきました。

まだまだ感染者数が気になる毎日ですが、しっかりと対策を講じた上で試合は行われました。先生方、保護者の皆さん、総勢四十一名が参加され、五チームに分かれての総当たり戦。日々の運動不足による体力の限界を心配しながらも、同じチームになった皆さんで「ケガなく、楽しく!!」を目標に試合に挑みました。

結果は：四戦全敗でしたがチームで声を掛け合い、笑いあいの楽しい時間でした。

閉会式では、主婦の心を揺さぶる豪華景品を用意していただきありがとうございます。

いろいろな事が制限されている中で、このような大会が開催され、参加した皆さんがケガなく笑顔、笑顔で終えられたこと、バレーボールを通じて親睦を深められたことに感謝いたします。

ぜひ来年度も参加したいと思います。

ありがとうございます。

ごぞい

ました。

ました。

PTA研修旅行に参加して

岡田美由紀

例年よりも三週間ほど早く梅雨明けを迎えた七月二日に二年ぶりに開催されたPTA研修旅行に参加させていただきました。昨年、一昨年は新型コロナウイルス感染症流行の影響で、本研修旅行は残念ながら中止となりましたが、今年度は無事開催され、本校の先生方と保護者合わせて二十名の方が参加されました。

午前八時に集合した本校記念館前では、すでに眩しい太陽の陽射しが照りつける夏の晴天でした。今年の研修旅行は、愛媛大学及び愛媛県立医療技術大学での大学見学並びに学生との座談会を行った後、砥部焼陶芸館で絵付けを体験するコースでした。

最初に訪れた愛媛大学では構内のキャンパスを見学したのち、社会共創学部の教室にて、本校を卒業された三名の学生(現在三回生)と座談会が行われました。座談会では、各愛大生が現在在学部で学んでいること、将来の展望、進学の際の動機や受験勉強のノウハウ、大学生活の様子など多岐にわたって話を伺いました。

その中で、三人とも学部は違うものの共通して話をされていたのは、大学の入試対策として、英語をしっかり勉強しておくことが重要だということでした。続いて訪れた愛媛県立医療技術大学では、同じく本校を卒業された看護学科三回生、臨床検

**専門委員会
活動報告**



人権・同和教育専門委員会

角藤 未栄

水戸社宣言から百年の今年、人権教育に関わる研修や大会に人権・同和教育専門委員会から参加しました。「知らないで終わるより知って解決したい。」子どもからの意見に、知らなくても困らない自分、無関心に慣れてしまう自分に気づきました。同和問題は必ず解決できる問題です。だから学んで様々な人権問題を解決する糧にするのです。子ども達を取り巻く環境は日々変化しています。ありのままの自分でいい、多様化社会の中、違いを認め尊重しあう事が生活を豊かにする事だと学ぶ子ども達に教えられました。コロナ禍三年目。子ども達は新しい形での高校生活を普通の事として受け入れています。私達も再開される行事に新たな気持ちで見守り続けたいと思います。



美化・保健専門委員会

森田 利恵

十月二十日、第二回防災避難訓練に参加しました。生徒たちは、各クラスからグラウンドに迅速に避難できていました。そして、一年生の代表による消火器を使った訓練が行われ、その後、保護者も消火器を使って実際に放水する訓練を行いました。一年生が消防署の方より、消火器の使い方や指導されているのを見ていたので、使い方は分かっているつもりでしたが、実際に消火器を使うと思っただけで、慌ててしまい、素早くできませんでした。日頃、消火器を触ることはめったにありません。実際に「見て、触って、使って使う。」という訓練の大切さを改めて感じました。

生徒指導専門委員会

三宅麻由子

当委員会の主な活動として、朝の登校指導があります。今年度は九月と十一月に実施され、先生方と一緒に、特に自転車通学生生の安全の見守りや声掛けを行いました。

学校周辺は大通りや踏切もあり交通量が多く、通勤通学する自動車やバイク、自転車が多すぎて行き交い、いつ事故が起きてもおかしくない状況です。その中で、北高生はヘルメットを着用し交通ルールを守る事が徹底されており、先生方や保護者に気が付くと気持ちの良い挨拶をしてくれ、朝から清々しい気持ちになります。中には登校時間ギリギリに猛スピードで走り抜ける生徒がおり、ヒヤッとするとする場面もありましたが、自分の命を守るためにも時間と気持ちにゆとりを持って登校してほしいです。

広報・文化活動専門委員会

福永由紀枝

当委員会の主な活動は、年一回のPTA新聞発行と文化祭でのPTAバザーです。昨年は、オミクロン株の感染拡大でほとんどのPTA活動が中止となりましたが、今年は徐々に解除され、この新聞にも様々な活動を載せる事ができました。

体育活動専門委員会

安永 敦子

当委員会の活動は、PTAソフトバレーボール大会に参加して保護者の方、先生方と交流することです。今年もまだコロナ禍ではありましたが、十一月二十六日に開催することができました。参加人数は保護者、先生方を合わせ、四十一名で五チームに分かれ、試合を行いました。お互いにたくさん声を掛け合いました。楽しく試合をすることができました。



子供達が高校生にもなる他の保護者の方や先生方とこのような交流を持つ機会が少なくなるため、当委員会の活動を通して交流ができることは、大切だと考えさせられました。ただ今後、コロナウイルス感染症が落ちついてきたら、子供達、保護者、先生方がこのPTAソフトバレーボール大会で交流できることを願います。

査学科一二回生の計四名の学生と座談会が行われました。臨床検査学科の一般入試は共通テストと英作文とのことで、ここでも受験対策は特に英語の勉強に力を入れていたことを話されていました。両大学生に高校時代の経験で、今に役立つしているところがあるかという質問をしたところ、印象的だったのは両大学生ともに北高の文武両道の精神が大学でも役立つとのことで、アルバイトやサークル活動など楽しむ時は楽しみ、学部の課題や将来に向けた資格取得の勉強をする時はしっかり集中するというメリハリのついた学生生活を送られていました。

その後、参加者は砥部焼陶芸館に移動し、大学訪問の感想を話し合いながら、楽しく絵付け体験を行いました。皆さん短時間ではありましたが、皆さん素晴らしい作品に仕上がりました。まだまだコロナ禍ということで、旅先も地元を回る旅ではありませんでしたが、卒業生、保護者、先生方と普段とれないコミュニケーションを図ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



部活動大会結果

第76回愛媛県高等学校総合体育大会

陸上競技	男子総合	第1位
	男子フィールド総合	第2位
	男子100m	第2位
	男子200m	第3位
	男子800m	第2位
	男子4×400mR	第3位

	男子三段跳	第1位
		第2位

	男子走高跳	第2位
	男子棒高跳	第2位
	男子8種競技	第2位
	女子100m	第1位
	女子棒高跳	第1位

水泳	男子4×100mフリーリレー	第2位
----	----------------	-----

	男子4×200mフリーリレー	第2位
--	----------------	-----

	男子50m自由形	第1位
	男子400m自由形	第2位
	男子400m個人メドレー	第2位
	女子100m平泳ぎ	第3位
	女子200m平泳ぎ	第3位

バスケットボール	女子	第3位
卓球	男子団体	第1位
	男子シングルス	第1位
	男子ダブルス	第3位

第3位

テニス	女子団体	第3位
	男子団体	第2位
ハンドボール	男子	第2位

柔道	女子	第2位
	男子個人	第2位
	男子個人	第2位
	女子個人	第3位
剣道	男子個人	第2位
	男子個人	第3位
	女子個人	第3位

愛顔スポーツ(ライフル射撃)	女子ビームピストル	第2位
----------------	-----------	-----

第75回四国高等学校選手権大会

陸上競技	男子三段跳	第2位
	男子走高跳	第3位
	男子8種競技	第3位
水泳	男子50m自由形	第1位
	男子100m自由形	第3位
	男子4×100mフリーリレー	第3位

	男子4×200mフリーリレー	第3位
--	----------------	-----

テニス	男子団体	第3位
卓球	男子学校対抗の部	第3位

第46回全国高等学校総合文化祭(東京大会)

吟詠剣詩舞	合同(構成吟)	推薦
-------	---------	----

第39回四国バレーコンクール

愛顔スポーツ	ジュニアAの部	第1位
--------	---------	-----

2022全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会

愛顔スポーツ	ユース女子440kg以下の部	第1位
--------	----------------	-----

第3回四国高等学校ビーチバレーボール選手権大会

バレーボール	女子	第2位
--------	----	-----

第69回愛媛県高等学校家庭クラブ研究発表大会

家庭クラブ	学校家庭クラブ活動の部	最優秀賞
-------	-------------	------

令和4年度愛媛県高等学校新人大会

水泳	男子100m自由形	第3位
	男子200m自由形	第3位
	男子400m自由形	第3位
	女子100m平泳ぎ	第1位
	女子200m平泳ぎ	第1位
	女子200m背泳ぎ	第3位
陸上競技	男子総合	第1位
	男子フィールド総合	第2位
	男子400m	第3位
	男子800m	第1位
	男子4×400R	第3位

	男子三段跳	第1位
	男子走高跳	第1位
	男子走幅跳	第3位
	男子ハンマー投	第2位
	男子やり投	第3位
	女子フィールド総合	第2位

	女子円盤投	第1位
	女子ハンマー投	第3位
	女子砲丸投	第2位

柔道	男子団体	第3位
	男子個人	第3位
	男子個人	第1位
	男子個人	第3位
	女子個人	第3位
	女子個人	第3位
ソフトテニス	男子個人	第2位

テニス	男子団体	第3位
	男子シングルス	第3位
	男子ダブルス	第3位

2021IIBWF男子U23車いすバスケットボール世界選手権大会

愛顔スポーツ	U23日本代表	第1位
--------	---------	-----

愛顔のえひめ文化・スポーツ賞

愛顔スポーツ

第77回国民体育大会

水泳	少年A男子50m自由形	第8位
愛顔スポーツ	サッカー少年女子	第5位

第24回四国高等学校新人陸上競技選手権大会

陸上競技	男子400m	第3位
	男子800m	第1位
	男子4×400mR	第3位

	男子三段跳	第1位
	女子円盤投	第1位

第71回秋季県展

美術	洋画部門	特選
----	------	----

第33回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞

佳作特別賞

第2回自転車甲子園

特別賞

第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛媛県大会

バスケットボール	男子	第3位
バスケットボール	女子	第3位

第36回愛媛県高等学校総合文化祭

美術	美術・工芸	優秀
----	-------	----

奨励

リーフレット原画

優秀

優秀

優秀

奨励

吟詠剣詩舞	剣詩舞(合同)の部	優秀
	剣詩舞の部	奨励